

令和 6年 2月

# Alam Mohammad Intekhab 学位論文審査要旨

主 査 尾 崎 米 厚  
副主査 山 崎 章  
同 森 田 明 美

## 主論文

Short- and long-term effects of drought on selected causes of mortality in northern Bangladesh

(バングラデシュ北部における干ばつが特定の死因に及ぼす短期および長期的な影響)

(著者： : Intekhab Alam、大谷眞二、長田アビル、Mohammad Shahriar Khan、  
増本年男、天野宏紀、黒沢洋一)

令和4年 International Journal of Environmental Research and Public Health  
19巻 DOI:10.3390/ijerph19063425

## 参考論文

1. The effects of drought severity and its aftereffects on mortality in Bangladesh

(バングラデシュにおける干ばつの深刻度とその余波が死亡に及ぼす影響)

(著者： Intekhab Alam、大谷眞二、Abir Majbauddin、Qing Qing、  
舟木(石津)聡美、増本年男、天野宏紀、黒沢洋一)

令和3年 Yonago Acta Medica 64巻 292頁～302頁

## 審査結果の要旨

本研究は、気象データと抽出した死因別死亡データを用い、バングラデシュ北部6地域における干ばつと死亡の関連を検討した生態学的研究である。標準化降水指数（SPI）と標準化降水蒸発指数（SPEI）の2つの指標により、3か月単位（短期）および12か月単位（長期）で干ばつの深刻度を分類し、深刻度と死因別死亡率の関連を分析した。SPI評価による短期の干ばつが死亡と最も強い関連を示し、また、地域によって死因別死亡率への影響が異なっていた。本研究は、干ばつが死因別死亡率に与える影響の評価を容易にする統計モデルを提案し、小地域ごとに影響を受ける死因が異なることを示し、その差異が発生する原因を考察することを通して、干ばつによる超過死亡を防止するための効果的な対策についての仮説を提案しやすくした点に意義がある。これらの知見は、気象医学、地球環境に関する学問および公衆衛生学における学術水準を高めたものと認める。